

ヒヤリハット事例集

No.18

事例	シリンジの中のサンプルが顔にかかった
どこで	研究室
どうしていた時	実験中
状況	シリンジでサンプルをホモジナイズする時、針が突然外れてシリンジの中のTri201が飛び散って顔にかかった。
原因	シリンジと針はきちんとセットされていなかった。
反省点・対策等	熟練している実験も気を緩めず、常に注意をはらいながら実施する。

No.17

事例	実験中に突然容器内の液体が噴出した
どこで	研究室
どうしていた時	実験中
状況	化学実験中、突然容器の蓋が飛び、内部の液体が噴出した。
原因	使用した薬品の特性を理解していながら「まあいいか」と正しい取扱いを行わなかったため。
反省点・対策等	冷静さを失わないこと、思いつきで行動しないこと。

No.16

事例	ドアのガラス部分に手をついた時に割れた
どこで	医学部先端医科学教育研究棟裏出入り口
どうしていた時	外へ出ようとして、閉まりかけているドアを慌てて開けようと手を伸ばしたところ、ガラスが割れた。
状況	勢いよく手をついたところが、ドアのガラス部分だったため。
原因	勢いがついていたのと、ガラス部分に手をついてしまったためと思われる。
反省点・対策等	ドアを開ける時に急がないことと、ガラス部分に触れないように気をつける。

事例	ガラス片があたった
どこで	研究室
どうしていた時	加熱系で化学反応をしかけていた時。
状況	容器が破裂し、ガラス片が飛散、学生にあたった。
原因	ガス抜き用にガラスに小さい穴をあけていたが、その穴が閉塞し破裂したと考えられる。
反省点・対策等	1. 破裂のガードが弱かったため、金属容器等破裂しないものを使用。 2. ガス圧がかかる反応は加圧リスクを高く見積もる。

事例	実験溶液が口に入った
どこで	実験室
どうしていた時	化学実験をしていたとき。
状況	強塩基性溶液(17.5%NaOH溶液)をホールピペットで分取しようとした時、口に入った。
原因	ホールピペットを使用したこと。
反省点・対策等	濃度の高い溶液を分取する時は、自分たちの判断で器具を使用しない。

事例	ガラス製のスポイトで指を切った
どこで	化学実験室
どうしていた時	授業での化学実験中。
状況	スポイト(ガラス製)にゴムを付けようとしていた時、スポイトが割れて指先を切ってしまった。
原因	ゴムの付け方の不手際と、ゴムが劣化して付け難くなっていたかもしれない。
反省点・対策等	(未記入)

事例	薬品が手にかかった
どこで	研究室
どうしていた時	実験していた時。
状況	薬品が突沸して、手にかかった。
原因	サンプル量が多過ぎて、安全に行う意識が足りなかった。
反省点・対策等	自分で実験出来る分量を考えて行動する。

事例	薬品をこぼした
どこで	実験室
どうしていた時	薬品を別容器に入れている時。
状況	手がすべって薬品をこぼした。
原因	入れる際に手をすべらせた。
反省点・対策等	①保護服を着る②入れる際にしっかり持つ③慣れてきても注意を怠らずに作業をする。

事例	カッターで指を切った
どこで	学部棟アトリエ
どうしていた時	模型を製作している時。
状況	カッターで模型材料のスタイロフォームを切っていた時、誤って指まで切ってしまった。
原因	自分の注意力の無さから、カッターの使い方が良くなかった。
反省点・対策等	頻繁に模型作りを行っていることから、カッターに対する注意力が低くなってきたので、これを機にカッターに対する危険性を再認識する。

事例	実験室に入ろうとしていた時に転倒した
どこで	実験室
どうしていた時	部屋に入ろうとしていた時(実験中)。
状況	室内に入ろうとしてドアを開けたら、床が濡れていて滑って転倒した。
原因	実験室に設置してある製氷機の前に、氷を取り出す際にこぼれた氷が溶けていて、とても滑りやすくなっていた。
反省点・対策等	製氷機の前にマット等を敷くなどの対処をし、氷をこぼした際には、拭き取るように注意する。

事例	液体窒素を扱っていて指が冷たくなった
どこで	実験室
どうしていた時	液体窒素を扱っていたとき。
状況	冷たいと感じた時、指が白くなっていた。
原因	液体窒素の液面および危険性を認識していなかった。
反省点・対策等	実験に伴う危険性について熟知した上で実験を行い、また、実験中は焦らないようにする。

No.7

事例	自転車に乗っていて溝に落ちた
どこで	事務局南側の学外への出入り口までの小道
どうしていた時	自転車に乗って出入り口付近を走っていた時。
状況	小道横の溝に自転車ごと落ちた。
原因	バランスを崩して落ちた。
反省点・対策等	溝に板があったら防げたと思われるが、自転車をもっと手前で降りておくべきだった。

No.6

事例	自転車からの転倒
どこで	体育館の前
どうしていた時	駐輪しようとした時。
状況	自転車を駐輪しようとした時、転倒した。
原因	自動車道が道を塞いでいたため、駐輪し難かった。
反省点・対策等	より慎重に駐輪することが必要と感じた。

No.5

事例	溝に落ちた
どこで	教育学部からバイク置き場までの道沿い
どうしていた時	フタのしていない部分の溝に落ちた。
状況	大雨のため、道と側溝の区別がつかない道を歩いていた。
原因	溝にフタが設置されていなかった。
反省点・対策等	フタがしてあれば落ちなかったのでフタを設置してほしい。

No.4

事例	ガラスで手を切った
どこで	研究室
どうしていた時	実験中
状況	折れた器具を片付けていた時、ガラスで手を切った。
原因	器具が老朽化していたと思われる。
反省点・対策等	細心の注意を払って作業にとりかかる。

No.3

事例	ゲルの噴き出し
どこで	研究室内
どうしていた時	実験のためのゲルを用意していた時。
状況	ゲルを温めていたときに、ゲルが突沸して噴き出した。
原因	ゲルの温めすぎと思われる。
反省点・対策等	ゲルを温め過ぎないように注意する。

No.2

事例	ガラス器具の破損。
どこで	研究室内
どうしていた時	ガラス器具を扱っていた時。
状況	ガラス器具に無理に力を加えて割ってしまった。
原因	ガラス器具の破損。取扱いが不適切であった。
反省点・対策等	ガラス器具の取扱いを慎重に行うこととする。

No.1

事例	実験時に硫酸を含んだ使用溶液をこぼした。
どこで	共用実験室内
どうしていた時	化学実験の際
状況	実験台の端にフラスコを置いており、それに手が触れて倒してしまった。
原因	円滑に実験を進めるために、手早く行っていたことが逆に不手際を引き起こしていた。
反省点・対策等	使用する試料などの危険性を予め理解した上で、最新の注意を払って実験を進めることが大事だと思った。